

懇志、寺報懇志御礼 栗波 ひさ子 様 原 和彦 様 吉田 豊 様 末次一郎、望 様

※年頭初参会の法要懇志につきましては2月号に掲載させていただきます。

お寺の 掲示板

何も咲かない 寒い日は 下へ下へと 根を伸ばせ やがて 大きな花が咲く

〈掲示月〉2024年(令和6年)12月

お寺の掲示板には 住職前住職が「毎月」言葉を書いています。通りがかりの人がメモをしたりしています。「意味を覚えてもらいたい」と、たずねられることもあります。この「お寺の掲示板」のコーナーでお伝えしていきたいと思えます。

讃佛迎春

仏祖の加護と皆様のお陰で、新しい年を迎えることができました。今年も一年どうぞよろしくお願いたします。

前列左から 住職次男: 尽、前住職、住職、坊守、前坊守、後列左から 野平松幸、高尾敬信、住職長男: 暁、住職長女: 凜

2024年の振り返り

昨年は、婦人会のお齋、壮年会、コール・カンタカ合唱団等、コロナ禍で休止していた活動も再開しました。また、例年の行事に加え9月は婦人会110周年記念コンサート、11月は受付世話人・婦人会・壮年会で九州真宗の源流展バスハイクを開催しました。また小倉組の多くの行事もコロナ禍以前と同様に開催されました。お寺の改修に関しては塀の補修、大玄関の屋根補修、帰命殿の空調清掃、帰命殿柱の再塗装を行い、2025年も継続して本堂の空調、ドレーン管、電気配線工事、畳替え等…1年を通して大きなメンテナンスを行う予定です。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご容赦ください。どうぞ本年も宜しくお願申し上げます。

除夜の鐘

お勤め 12月31日 14時半～
鐘 12月31日 15時～

近隣住民への配慮の為、除夜の鐘を除夜の鐘に改めます。(順番札の配布方法等、詳細はホームページでご報告します。)

お知らせ

- 寺報には大切な情報が書かれていることがあります。捨てずに一読ください。
- お経本は床に置かないでください。
- 寺報が届かないことがあります。住所が変更する場合は、恐れ入りますがお寺に届けてください。
- 最近では法事が土曜・日曜に集中しますので、早めに連絡頂ければ助かります。(特にお寺で法事をする場合)

【開門・閉門の時間】
※年末年始もこの時間です。
開門 6時30分
閉門 18時00分

2000年、シドニーオリンピックマラソンメダルの高橋尚子さんが、支えになった恩師のことばとして、インタビューで語ったのが、今月、掲示のことばです。

高橋さんが、岐阜商業高校時代、全国都道府県対抗女子駅伝の岐阜県代表に選ばれるのが、やっとの選手で、全国大会の本番では9人に抜かれ、区間順位は全国で下から3番目の45位だったそうです。そんな高橋さんの支えになったのが、高校時代の陸上部監督、中澤正仁から送られた言葉です。この言葉を支えに、練習に励んだそうです。

中澤監督自身も山梨学院大学時代に上田誠仁監督からこの言葉を送られ、心の支えにしてきたそうです。

「根を養えば、樹はおのずから育つ」、「根ほど葉は茂る」根が大事というのを静かに考えると、根を受け止めてくれる大地があったればこそです。根がどんなに立派でも、土が悪ければ、大きく育つことはできません。

「浄土は、浄らかな土、阿弥陀様の本願の大地です。いつでも、どこでも、どんな人でも、生も死も、受け止め支え続けてくださっていますので、安心して根を伸ばすことができます。

花開くには、根、土、日光、水分等様々な縁の整つことが必要です。

花一輪 開くにも 天地いっぱい 縁がかり

2025年(令和7年)の行事予定



年頭初参会 1月 14日(火)、15日(水)、16日(木)

引上会報恩講 5月 14日(水)、15日(木)、16日(金)

合同盆法要 8月 11日(月)、12日(火)、13日(水)

永代経法要 9月 16日(火)、17日(水)、18日(木)

その他行事につきましては随時お知らせいたします。

2025年 永照寺『年頭初参会』について

1月14日(火)

お斎あり

1月15日(水)

お斎あり

1月16日(木)

お斎なし

10:00～ 1時間半程度【1日1座とさせていただきます】
前住職・住職がご法話いたします。

- 懇志袋は永照寺だより先月号に同封しております。お寺にもご用意しております。
- 1月14日、1月15日はお斎の接待があります。1月16日はお斎の接待がありません。
- 懇志上納者の堂内掲示は控えます。後日寺報にて掲載いたします。
- 16日の7時のお朝事(おあさじ)はありません。
- 感染予防の為、地区総代による法座案内の配布をご遠慮させていただいています。また、この寺報をもって法座案内、新年のご挨拶とさせていただきます。葉書はお送りいたしませんのでご了承ください。



親鸞聖人ご生誕850年 立教開宗800年慶讃

特別展 九州真宗の源流

令和6年 11/23(土) - 令和7年 1/26(日)

福岡市博物館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1
TEL.092-845-5011

親鸞聖人によって800年前に開かれた浄土真宗は、親鸞聖人が念仏の教えを説き広めたことにより、全国各地に伝播していきました。本展覧会では、九州各地に大切に守り伝えられてきた真宗各派寺院の法宝物を一堂に展覧に供し、念仏の教えが九州においてどのような伝播の道をたどり、人々の心を惹きつけてきたのか、その歴史をひもときます。

ふだんは本堂や蔵のなかで大切に安置され、間近に拝見する機会がない彫像・影像・絵伝・名号・御文章など、九州各地の60ヶ寺からご提供いただいた約165件の法宝物をとおし、すべての人々を平等に救うために親鸞聖人が説かれた念仏の教えに遇う機縁となりますよう祈念いたします。

親鸞聖人ご生誕 850年 立教開宗 800年慶讃



特別展

九州真宗の源流



<https://www.kyushu-shinshu-genryuten.com/>

永照寺から「御絵伝」「聖徳太子御絵像」「七高僧御絵像」を出展致します。

お時間許す方、興味のある方は是非、足を運んでください。

